

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月10日更新

事務事業名		防災士育成事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康	所属部	総務部	課長名	齋藤 和広
	施策	15	防災対策の推進	所属課	安全安心課	担当者名	橋本 達郎
	施策の柱	48	災害予防対策	所属班	防災対策班	(内線)	1244
予算科目	会計一般	款 9	項 1	目 4	事業連番 11717	根拠法令	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 29 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地域における防災力の向上の担い手となる人材を育成することにより、災害に強いまちづくりを推進するため、防災士養成講座を開催し、防災士の育成を推進する。令和4年度までの実施を予定している。 また、平成30年度に設立した防災士連絡協議会(R4.3.31現在161名)との情報交換・連携を図り、防災訓練や研修を行い市全体の防災力の向上を図る。
【業務の流れ】	防災士養成に伴う要請講座の開催
【主な予算費目】	・職員手当等 ・報償費 ・需用費 ・役務費 ・負担金補助及び交付金
【意見や要望】	熊本地震に伴い、議会より防災士育成の重要性について意見が上がっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	防災士資格取得の為の養成講座を共同開催した。(菊池市、合志市、菊陽町、大津町)また、防災士連絡協議会の役員会及び総会を開催した。 【基準に達しなかった理由】受講者が予定より少なく登録申請料や教材費補助が少なくなったため。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・防災士養成講座を共同開催する。(菊池市、合志市、菊陽町、大津町の4市町) 令和5年度は大津町が事務局となる。 ・防災士資格取得に係る関係費の補助金の支払い。 ・防災士連絡協議会の役員会及び総会の開催。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 → ア: 防災士養成講座開催数	予算の主な増減の理由 → ア: 防災士連絡協議会運営補助金の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	・市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 → ア: 人口
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・防災士の認証登録を行なう	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 人 → ア: 防災士認証登録者数
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度 実績(決算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	6年度 予定	7年度 見込	8年度 見込	
① 活動指標	ア	回	0	1	1	1	1	1	1	1	
② 対象指標	ア	人	63,189	63,841	64,614	64,453	65,500	65,311	66,650	68,409	
③ 成果指標	ア	人	137	162	200	177	230	260	290	300	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円		78						
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	87	846	1,452	1,018	1,461	1,450	1,450	1,450
		(A) 事業費計	千円	87	924	1,452	1,018	1,461	1,450	1,450	1,450
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	70	70	70
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	56	56	56
		正規職員従事人数	人	6	5	5	4	5	5	5	5
延べ業務時間	時間	720	670	500	600	500	500	500	500		
(B) 人件費計	千円	2,838	2,619	1,992	2,283	1,992	1,992	1,992	1,992		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,925	3,543	3,444	3,301	3,453	3,442	3,442	3,442		

事務事業名	防災士育成事業	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 菊池市・菊陽町と合同で防災士養成講座を合志市が事務局となり開催した。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 次年度は大津町が事務局となり、大津町を加え4市町合同の養成講座を予定している。(8月開催)
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 事業周知を図りより多くの参加者を募ることで防災意識の向上を図ることができる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 防災士への支援は本事業のみである。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 自治体主催で開催し最低限の経費で行っており削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 防災士養成のための事務であり削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公募により参加者募集を行っており公平公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 防災士養成は市が主体に取り組む必要がある。

3 評価結果の総括 (CHECK)

コロナ対策を行い予定どおり防災士養成講座を実施した。中学生の募集という新たな取組を実施し今後も継続していく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						